

2025年

秋号

こころ だより

山口県立こころの医療センター広報誌

特集

精神科診察のAI化

病院の理念

県民の心の健康を支える
質の高い医療の提供



令和7年度高次脳機能障害支援養成研修(基礎研修・実践研修)を開催しました
2025 こころの医療センター ファミリーサポートセミナーが始まりました
ダイエットにも!? おいしい秋の味覚を使った料理
診療のご案内

編集：広報委員会

発行：山口県立こころの医療センター
山口県宇部市東岐波4004-2
TEL:0836-58-2370（代表）



地方独立行政法人
山口県立病院機構

1989年私が富士フィルムで新入社員だった時、新入社員研修で役員が「銀塩フィルムは永遠に不滅です」と講演していました。皆さんもご存じの通り、インスタントフィルムの様なニッチ分野以外は、21世紀初頭にそのビジネスは消滅しました。そのあたりで業界1位のコダックと業界3位でドイツの会社のアグファは倒産しました。

アメリカの経済学者のH.J.ハバククは、19世紀の英米における資源の偏りが技術進歩に与えた影響を論じました。労働力が豊富であったイギリスと比べて、労働力が不足していたアメリカでは、標準化や機械化が進み、最終的にはヘンリー・フォードによる自動車大量生産の様な、いわゆるフォーディズムへと繋がっていました。これを現在の精神科医療に当てはめて考えてみましょう。世界保健機関(WHO)の2020年のデータでは、人口10万人あたりの精神科医数は、日本は12.6人であるのに対して中国は2.8人の水準です。(ちなみにアメリカは15.6人)日本は精神科医数rich、AI poor、資本poorという状況ですが、精神科医数poor、AI rich、資本richなのが中国です。中国では、限られた精神科医で広大な国民のメンタルヘルスニーズに対応するため、AI技術の導入が急速に進んでいます。

その最たる例が、清華大学が発表した「Agent Hospital(エージェント・ホスピタル)」です。これは、42人のAI医師と4人のAI看護師がデジタル患者を診断し、治療を行う世界初のAI駆動型仮想病院で、北京で公開されました。実際の医療データに基づいてリアルな症例シミュレーションを可能にし、圧倒的な処理能力で数日で1万症例を管理できます(これは人間の医師が約2年かけて行う業務量に相当します)。精神科領域に特化した事例ではありませんが、中国がAIを駆使して医療資源不足を補い、医療の課題解決を加速させている先進的な取り組みを示しています。

精神科医療での中国の具体的な活用例では、感情認識AIが患者の表情や声のトーンから心の状態を分析したり、自然言語処理AIがオンライン相談の内容から適切な診断を提案したりといった試みが既に実用化されています。ある医療機関では、軽症のうつ病患者のスクリーニングや、服薬指導の一部をAIチャットボットが担うことで、医師の負担を軽減し、より多くの患者にアクセス

を提供している事例も報告されています。これは、労働力(精神科医)が不足しているからこそ、AIという機械化・標準化の動きが加速しているハバククの理論を彷彿とさせます。

AIの進化において、最も重要な要素の一つが学習です。精神科の診療は、患者さんの感情や言葉の機微を捉える繊細な領域ですが、AI自体はデジタル化された情報とは非常に親和性が高いと言えます。近年普及が進む精神科のオンライン診療は、AIが学習するための絶好の機会を提供します。AIが精神科医の診療スキルを向上させるには、以下のようなプロセスが考えられます。まず、多数の精神科医によるオンライン診療や、リアルな診療をAIが観察し、多様な症例や医師の対応パターンを学習します。さらに、診療の結果として医師がなぜそのような処方をしたのか、なぜそのように患者さんとコミュニケーションをとったのか、といった診療のアウトプットの理由を、都度精神科医がAIに教えることで、AIの診療の質は飛躍的に向上していくことでしょう。これは、ベテラン医師が若手医師を指導するように、AIを育成するようなイメージです。AIは膨大なデータを瞬時に分析し、人間の認知能力では不可能なレベルで、パターン認識や予測を行うことができるようになります。

もちろん、精神科医の仕事は単なる診断や処方だけではありません。患者さんとの信頼関係の構築、共感、そして人間としての温かさは、AIには代替できない重要な要素です。しかし、ルーティンワークや情報収集、診断補助といった部分は、AIが担うことで医師の負担を大幅に軽減し、より人間にしかできない、患者さんとの深いコミュニケーションや個別のケアに時間を割けるようになるでしょう。

皆様もお気づきかもしれません、自分が文章の骨格を提案しましたが、原稿の原案はAIのGeminiが作成しました。Geminiは精神科医の自分に気を使って、AIが精神科医に完全に置き換わる文章は作成しませんでした。AI技術は、第3次産業革命(1次は蒸気機関、2次は19世紀後半の電気や内燃機関エンジン)となるimpactがあると思います。今後どうなっていくのか?アンテナを張り危機感を持って、取り組んでいった方が良いかもしれませんね。



令和7年度 高次脳機能障害支援養成研修 (基礎研修・実践研修)を開催しました

相談支援事業所や障害福祉サービス事業所等の職員を対象に、高次脳機能障害の特性に応じた支援について学ぶための研修会を8月8日と9月9日に当院にて開催しました。

高次脳機能障害とは、病気(脳梗塞や脳腫瘍等)や怪我などにより、脳が損傷することで起こる、もの忘れ(記憶障害)、同時に二つのことができない(注意障害)、段取りを立てるのが苦手(遂行機能障害)、いろいろなど感情的になりやすくなつた(社会的行動障

害)等の認知障害を要因として、日常生活および社会生活の適応に困難を生じるようになる障害のことと言います。

受講者の方には、事前に講義動画の視聴と理解度テストを受けて研修会に参加していただきました。講義動画はボリュームが多いですが、基礎的なことから関わり方、制度など幅広く学んでいただける内容になっています。当院で行ったグループワークでは、当事者の強みを活かした支援計画の作成など活発な意見交換がなされました。

来年度も開催が近づきましたら詳細を当院ホームページに掲載予定です。



2025 こころの医療センター ファミリーサポートセミナーが始まりました



場 所	当院第2会議室
時 間	各日15:00~16:30
対 象 者	当院に、入院または通院の患者(統合失調症)のご家族
参 加 費	1,000円(初回参加時のみ、資料印刷代など)
申込方法	事前申込み制 *開催10日前までにお申し込みください ○主治医や看護師、相談員などへお声かけいただくか、下記の問合せ先へ (参加者氏名、患者氏名、連絡先)ご連絡ください



月 日	内 容
8/1	「統合失調症の基本的知識」
9/5	「ご家族が抱える困りごと・問題解決技法を用いた考え方」
10/3	「ご本人への関わり方・コミュニケーション」
11/7	「ご家族のリカバリー」

ご家族の皆様が正しい知識を知り、
共に考え、励まし合える場をもつことで、無用な不安や心配から解き放たれ、より前向きに希望をもって病気に立ち向かっていけるために

お問い合わせ

山口県立こころの医療センター 奴田原・藤近
電話：0836-58-2370 FAX：0836-58-6503
Mail : Kokoro.daycare@ymghp.jp



ごぼうとさつまいもの 甘辛煮風



材料 (1人分)

ごぼう	… 50g
さつまいも	… 50g
☆醤油	… 小さじ1
☆だし汁	… 小さじ1
☆砂糖	… 小さじ2
☆みりん	… 小さじ2
ゴマ油	… 小さじ1
いりごま	… 小さじ1
片栗粉	… 適量
サラダ油	… 適量

作り方

- ① サツマイモを半月切りし水にさらす。ごぼうは小さめの乱切りにし水にさらす(10分程度)。
 - ② 水気を拭き、サツマイモに片栗粉をまぶす。
 - ③ フライパンにサラダ油を適量入れ加熱し、サツマイモとごぼうを揚げ焼きにする。
 - ④ 揚げ焼きしたらサツマイモとごぼうの油を切っておく。
 - ⑤ 鍋に☆の材料を入れ煮詰める。
 - ⑥ 鍋の火を止めごぼう、サツマイモ、ごま油、いりごまを入れ絡めたら完成。
- サツマイモやごぼうは食物繊維が豊富。腸活で心も体もすっきりしませんか。

三種のきのことパプリカの 炒め物



材料 (1人分)

エリンギ	… 100g
シメジ	… 100g
まいたけ	… 100g
赤パプリカ	… 50g
オリーブ油	… 大さじ1
ニンニクすりおろし	… 小さじ2
マジックソルト	… 適量

作り方

- ① エリンギは石突きを切り落としスライスする。シメジは石突きをとりほぐす。まいたけはそのままほぐす。赤パプリカは千切りに切っておく。
 - ② フライパンにオリーブ油を入れ、ニンニクすりおろしを入れ香りが出たら①の食材を入れる。
 - ③ 火が通ったらマジックソルトを振りいれ、絡めたら火を止め完成。
- 秋が旬のキノコは水溶性食物繊維の宝庫。腸内環境改善にいかがでしょうか。

診療のご案内

外 来 診 察 担 当 医					
初 診			再 診		
月	(物忘れ・高次脳) 兼 行	(一般) 角 田		藤 田	磯 村
火	(思春期) 村 田			坂 倉	加藤・能見
水	(一般) 原 賀			兼 行	村 田
木	(依存症) 藤 田	(一般) 新 造		兼 行	角 田
金	(一般) 坂 倉			藤 田	新 造



※最新の情報は病院ホームページをご覧ください。

初診・再診とも予約制となっております。予めお電話でご予約されてご来院ください。

外来直通電話：0836-58-2327

もの忘れ外来は認知症疾患医療センター（0836-58-5950）、

高次脳機能外来は高次脳機能障害支援センター（0836-58-1218）にご連絡ください。



交通のご案内



お車/山口宇部道路「宇部東IC」より丸尾方面へ約5分
電車/JR宇部線「丸尾駅」より徒歩約15分
バス/宇部市営バス「東岐波中学校前」より徒歩10分

地方独立行政法人 山口県立病院機構
山口県立こころの医療センター

〒755-0241 山口県宇部市東岐波4004-2
TEL: 0836-58-2370 (代表)
: 0836-58-2327 (外来直通)
FAX: 0836-58-6503

こころの医療センター

<https://www.y-kokoro.jp/>

